

授業科目名： 視覚障害教育総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：樋原 理恵 担当形態 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目。</li> <li>・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目。</li> </ul>		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</li> <li>・多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</li> </ul>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 視覚障害児の教育の場とその対象範囲、視覚の生理及び病理を理解する。</li> <li>(2) 視覚障害児の教科指導の具体的内容、方法、配慮事項を理解する。</li> <li>(3) 視覚障害児の自立活動の指導内容、6本の柱との関連を理解する。</li> <li>(4) 視覚障害児のキャリア教育、進路指導、福祉政策についての認識を深める。</li> </ul>			
<p>授業の概要</p> <p>子どもは、模倣によって多くの事を学びます。ところが視覚障害児は視覚による模倣が不可能であったり、困難であったりするため、日常生活に必要な動作や技術を習得することが難しい。また、人間は情報の80%を視覚から得ているといわれます。この情報入手の大半を奪われた視覚障害児に対する教育が、具体的にどのような内容、方法で行われているか、配慮事項にはどのようなことが挙げられるかを学びます。また、視覚障害者に対するキャリア教育、福祉政策等の現状を知り、共生社会への足がかりを「視覚障害教育」を通して学修する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：視覚障害児と学びの場（教育及び支援の対象となる視覚障害の範囲、学びの場）</p> <p>第2回：視覚の成り立ち（視覚器の構造 主な視機能 視覚障害の程度の把握 主な眼疾患と見え方）</p> <p>第3回：視覚障害乳幼児の発達と支援（発達に影響する要因 発達の特徴と支援の留意事項 弱視児の「見る力」の発達の支援 幼稚部・幼稚園等における指導）</p> <p>第4回：盲児の指導（視覚以外の感覚を使った「体験」 触覚の特性）</p> <p>第5回：盲児の指導（上手に触る力を育てる指導と教材の工夫 盲児の点字指導）</p> <p>第6回：弱視児の指導（弱視児の視覚認知 見やすい環境の整備）</p> <p>第7回：弱視児の指導（教材の工夫 弱視レンズ 指導の実際）</p> <p>第8回：点字（点字の歴史 点字の概要 点字の仕組み 点字の表記規則 視覚障害者の生活と点字）</p> <p>第9回：教科の指導（同じ教科書 「準ずる教育」の定義 指導内容の精選 学習指導要領に</p>			

示された指導上の配慮事項 特徴を生かして工夫された指導内容 教科指導と自立活動との関連)

第10回：教科書（ニーズに応じた教科書 法的根拠 教科書のバリアフリー法 作成の課題）

第11回：自立活動の指導（自立活動とは 自立活動の「内容」 視覚障害児の自立活動の実際）

第12回：自立活動の指導（個別の指導計画 指導時間と指導形態 重複障害児の自立活動）

第13回：歩行指導（幼児期の歩行指導 白杖の役割と操作法の指導 ランドマークの種類と活用 メンタルマップの形成 自立への態度と習慣 弱視児の歩行指導 中途失明者の歩行指導）

第14回：キャリア教育・進路指導（視覚特別支援学校におけるキャリア教育・進路指導 伝統的な職業としての三療 視覚障害者の大学進学）

第15回：特別支援学校のセンター的機能 視覚障害者と福祉政策

#### 教科書

(1) 青柳まゆみ・鳥山由子 編著 『新・視覚障害教育入門』 株式会社ジアース教育新社

#### 参考文献

- (1) 文部科学省 『特別支援学校幼稚部・小学部・中学部学習指導要領（平成29年告示）』
- (2) 文部科学省 {編} 特別支援学校学習指導要領解説「自立活動」（平成29年4月告示）
- (3) 香川邦生 編著 『視覚障害教育に携わる方のために（五訂版）』 慶應義塾大学出版会
- (4) 香川邦生・千田耕基 編著 『小・中学校における視力の弱い子どもの学習支援』 教育出版
- (5) 大河原 潔 他（編著）「視力の弱い子どもの理解と支援」 教育出版

#### 学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。